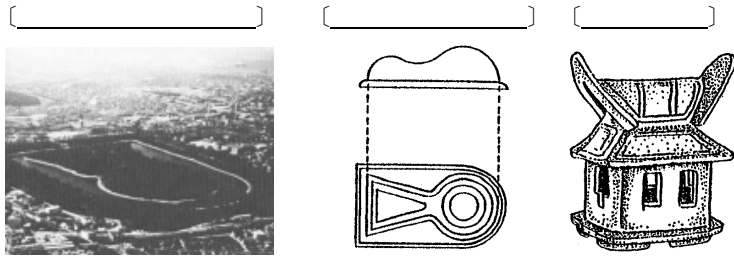


古墳と大和政権

(1) 古墳文化

- ① 古墳の出現… 3世紀末ごろから、各地で豪族が土を高く盛り上げた墓をつくるようになった。これを古墳といい、7世紀ごろまで続いた。この時代を古墳時代という。
- ② 古墳の形… 西日本の各地に_____と呼ばれる大きな古墳が造られるようになった。その中でも最大のものは大阪府堺市にある_____古墳である。また、古墳の周りには人や家・動物などをかたどった_____が置かれ、副葬品として祭りの道具や武具なども収められている。



(2) 大和政権

- ① 大和国家 … 大和地方(奈良県)に特に大きな古墳が造られているので、この地域に強力な国ができたと考えられる。この政府を_____とよび、その王は_____という。大和朝廷は5世紀ごろ、北九州から、東北南部までを支配した。
- ② 氏姓制度 … 豪族は、氏という集団をつくり、大王から臣や連などの姓をあたえられ、それぞれ決まった仕事を行っていた。氏と姓による政治のしくみを氏姓制度という。地方の豪族は国造などに任じられた。

- ③ 外 交 … 朝鮮半島には高句麗・_____・百済くだらがあり、大和政権は_____みまな(任那)に勢力をのぼした。大和政権は_____と結んで、高句麗・新羅しらぎと戦った。中国は南北朝に分かれていたが、大和政権は、朝鮮半島での立場を有利にするために中国の_____に使いを出した。



- ④ _____… 朝鮮から移り住んだ渡来人たちによって、かんがいの土木技術・須恵器・養蚕はたお・機織りの技術が伝えられた。5世紀には_____や_____が、また6世紀に_____が公式に伝えられ、日本に大きな影響を与えた。